

QSTによる量子線利活用 よろず相談会を開催（7月8日）



7月8日13時30分から、ひたちなかテクノセンター研修ホールにてQST(量子科学技術研究開発機構)による量子線利活用 よろず相談会が開催され52名の方に参加いただきました。

今回はQST高崎研究所の有する技術や共同研究で得られた製品化事例を研究者や企業の方々パネル展示して、参加者が直接討論できる形としました。最初に、QST高崎研の技術概要と共同研究の成果の製品化の概要がプレゼンテーションされた後、パネル掲示や、実験装置、開発製品のデモ装置の展示等、見どころの多いものとなりました。

パネルの内容を以下に示します。

- ①レーザー元素分析技術
- ②グラフト重合材料加工技術
- ③架橋軟材料創製技術
- ④イオンビーム育種
- ⑤次世代放射光の概要
- ⑥量子線施設利用相談
- ⑦ QST知財活用と共同研究相談
- ⑧グラフト重合技術を応用し、水中の極微量な金属イオンを除去（倉敷繊維加工 株）
- ⑨イオンビーム加工酵母による酒造り（聖徳銘醸 株）
- ⑩グラフト重合技術応用吸着ざいをばね式フィルターに活用（株）モハ・エソジ コリツグ）



予告：QST那珂研究所 技術交流会（12月1日）

12月1日にQST那珂研において、技術交流会を実施いたします。JT-60SAやITER計画の状況、それらに関わる調達計画をご講演いただくほか、入札として出てこないような少額の案件の予定や、企業との連携を希望する案件など、ここでしか得られないような情報を入手できる会となります。会員企業様からもブース展示いただけるスペースを設けますので、研究者や発注責任者の方々へ、直接アピールすると同時に情報交換ができる交流の場とする予定です（参加・出展費用：無料）。

詳細は別途連絡いたしますので、この機会に皆様ぜひともご参加ください。

会員訪問を重点実施中

会員の皆様のニーズに沿った支援を行っていくために、皆様のご意見を頂戴すべく、本年度はコーディネーターの会員訪問を重点実施しております。8月末までに約90件の訪問を実施しました。

ご多忙のところ恐れ入りますが、訪問時には協議会に対するご要望など、忌憚なきご意見を頂ければ幸いです。